

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	エンジン01開催事業費		部課コード	2006	予算事業科目	011007010295	事	単	区分	終了
所管部署	担当部局	教育委員会	部長名(2次評価者)	松原 和廣		個別事務	全部	011007010295	-	
	担当部署	生涯学習課	所属長名(1次評価者)	秋沢 大助			-			
	電話番号	088-822-6394	E-mail	kc-200600@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	02 Bいきいきと輝き安心して暮らせる都市	政策基本方針	文化施設の整備や文化団体の相互交流等を通じ、高知らしい特色ある芸術・文化活動を促進するとともに、博物館機能を充実させ、これまで育んできた歴史や文化を発掘・伝承するまちづくりを推進します。
款	10 教育費	政策	03 文化と歴史を育むまちづくり		
項	07 社会教育費	施策	01 芸術・文化活動の支援		
目	01 社会教育総務費	区分	01 文化・芸術の振興		

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	「オープンカレッジ開催申込書」をエンジン01文化戦略会議に提出(20.3.21)、「オープンカレッジin高知」開催決定(20.5.29)	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	市民・県民、エンジン01文化戦略会議メンバー、実行委員会		
意図	どのような状態にしていくのか	①高知市民・県民が「知のネットワーク」とつながる機会の創出。②01メンバーを高知のサポーターにして今後の観光振興へつなぐ		
手段	事業実施体制等	市民有志によるエンジン01オープンカレッジin高知実行委員会を設立(事務局:生涯学習課)	事業開始年度	平成21年度
			事業終了年度	平成21年度
活動内容	どのような事業活動を行うのか	期間中行われるシンポジウム、約40コマの講座、約20コマの夜楽等を通じて、市民・県民がエンジン01メンバーとの「知の交流」を行い、文化的・芸術的な意識啓発の機会を創出するとともに、エンジン01メンバーに対しては高知の文化や食等の地域資源をPRする。		
成果指標	事業目的の成果を測る指標		指標設定の考え方	
	A	参加者(人)	各講座・シンポジウム・ワークショップ・夜楽等のチケット販売率	
	B	市負担金以外の予算確保(円)	事業実施に必要な県・国等の公的団体の負担金・補助金、民間企業協賛金の確保	
	C			

4 事業の実績等

			19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	参加者(人)	目標		10,000			
		実績			15,164			
	B	市負担金以外の予算確保(円)	目標		34,000,000			
		実績			59,494,117			
C		目標						
		実績						
投入コスト	① 事業費	決算額(千円)			70,594			
		財源内訳	国費(千円)			19,340		
			県費(千円)			4,000		
			市債(千円)					
			その他(千円)			36,154		
			一般財源(千円)	0	0	11,100		0
	翌年度への繰越額(千円)							
	② 概算人件費等	人件費等(千円)	0	0	16,532	0		
		正規職員	(千円)	0	0	15,000		0
			その他(千円)			1,532		
			人役数(人)			3.00		
		正規職員	(人)			2.00		
			その他(人)			1.00		
		総コスト=①+②(千円)	0	0	87,126	0		
市民1人当たりコスト(円)	0	0	256		総コスト/年度末人口			
年度末住民基本台帳人数(人)	341,544	340,695	339,714					

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

- ①市民・県民が115名の各分野の第一線の講師陣の話を間近に聞き、交流し、刺激を受ける場の創出
 ②エンジン01メンバーの持つ媒体(雑誌・新聞・HP等)による高知の文化・食・歴史等地域資源紹介により、観光誘客・販路拡大へのきっかけとなった
 ③多くのエンジン01メンバーが「高知の大ファン」となり、開催後プライベートで度々高知を訪れたり、定期的に高知の産品を取り寄せるなど新たな高知とのつながりが続いている
 ④市の主催する文化イベント等へのエンジン01講師の派遣
 (22年度以降の動き)
 ・エンジン01講師とのネットワークや情報発信力を活用するため、来年3月の「エンジン02」開催を目指し、民間青年団体を中心とする「高知エンジン実行委員会」が設立(22.9.9)。本市は「オブザーバー」としての立場で参画するが、実質的には当面の間、エンジン01文化戦略会議との連絡調整を担うこととする。
 ・22年10月市教育委員会主催の「春野文化ホールピアステージ自主文化事業」にエンジン01講師3名を招聘。
 ・県の「アクションプラン」(観光分野)掲載事業であり、場合によっては補助金の活用も視野に入れる必要あり。

6 1次評価(所属長評価)

評価日(平成22年 9月 24日)

評価項目		評価基準		1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	〔施策体系等での位置付け〕		A (5) 結びつく	A	2001総合計画に搭載されている施策「芸術・文化活動の支援」「芸術・文化活動の場づくり」という面では、想定以上の成果を上げた。 また「県産業振興計画-高知市地域アクションプラン」に搭載されている「エンジン01オープンカレッジin高知の開催を契機とした交流人口の拡大」についても、高知の情報発信やオープンカレッジ自体への県外から相当数の参加者があったと思われることから、効果は十分にあったと思われる。
		〔市民ニーズの傾向〕		B (3) 一部結びつく		
		A (5) 非常に多い、急増している				
		B (3) 横ばいである				
事業内容の有効性	② 事業の実施に対する市民のニーズ(需要量)の傾向はどうか	〔成果の達成状況〕		C (1) あまり結びつかない	A	入場券は事前のPRの効果と実行委員の集客努力により、各講座・シンポジウム・ワークショップ・夜楽ともにほぼ完売。 予算については年度当初は4,200万円と想定されていたが、エンジン01側の希望により「ミュージカル」を制作したため支出が増大したため、急遽文化庁の補助金を申請するとともに企業協賛活動を強化したことにより必要額を確保した。
		〔事業の手法・活動内容〕		D (0) 結びつかない		
		A (5) 十分に達成している				
		B (3) 概ね達成している				
事業実施の効率性	③ 事業の成果指標の達成状況は順調か	〔アウトソーシングの可能性〕		C (1) あまり順調ではない	A	平成21年度は事務局を行政が担っていたが、今後継続していくためには民間主体で実施することが望ましい。 平成22年度は県内の青年経済団体を中心とする「高知エンジン実行委員会」(事務局:高知商工会議所青年部)に移行することになり、「土佐のおきやく」と連携した民間主体の行事となった。
		〔事業統合・連携・コスト削減〕		D (0) 十分な成果を望めない		
		A (5) 実施済・できない				
		B (3) 行政主体が望ましい				
事業実施の公平性	④ 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	〔受益者の偏り〕		C (1) 検討の余地がある	A	チケットの販売は「夜楽」を除き「チケットぴあ」に委託。市民のみならず全国どこからでも公平に購入できるように配慮した。 チケットは「夜楽」を除き全て1コマ500円という安価であり、市民・県民が一流の文化にふれる場としては極めてハードルが低かったと思われる。ただし今後公的な補助がなければ料金は高く設定せざるを得ない。
		〔受益者負担の適正化〕		D (0) 見直しが必要である		
		A (5) 現状が望ましい・できない				
		B (3) 概ね効率的にできている				
総合点	⑤ 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	〔事業統合・連携・コスト削減の可能性〕		C (1) 検討の余地がある	C	総合点 17.0 総合評価 ○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)
		A (5) 十分可能である				
		B (3) 概ね効率的にできている				
		C (1) 検討の余地がある				
総合点	⑥ 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	〔受益者の偏り〕		D (0) 十分可能である	B	総合点 17.0 総合評価 ○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)
		〔受益者負担の適正化〕		A (5) 適正な負担割合である		
		A (5) 極めて公平性が高い				
		B (3) 概ね保たれている				
総合点	⑦ 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	〔受益者負担の適正化〕		C (1) 検討の余地がある	A	総合点 17.0 総合評価 ○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)
		〔受益者負担の適正化〕		D (0) 検討すべきである		
		A (5) 適正な負担割合である				
		B (3) 概ね適正な負担割合である				
総合点	⑧ 事業実施の財源として、受益者負担割合(一般財源負担割合)は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	〔受益者負担の適正化〕		C (1) 検討の余地がある	B	総合点 17.0 総合評価 ○ A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)
		〔受益者負担の適正化〕		D (0) 検討すべきである		
		A (5) 適正な負担割合である				
		B (3) 概ね適正な負担割合である				

7 2次評価(部局長評価)

評価日(平成22年 9月 24日)

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	一次評価者と同じ(民間主体であるが事業は継続)
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項